



泉駐在所だより

矢板警察署
43-0110
泉駐在所
43-2144



山岳遭難の防止について



春は、山の空気や緑がさわやかで登山者が多くなる季節です。それに伴い、山岳遭難の発生が懸念され、特に連休期間中は、全国的に山岳遭難が多発する傾向にあります。山はまだまだ気温が低く、雪が残る場所があるほか、寒風が吹きすさぶなど厳しい環境もありますので、登山計画や装備が不十分だと命に関わる場合もあります。



県内の山岳遭難の現状

【令和7年中の山岳遭難発生状況】

- 令和7年中の山岳遭難は、70件発生して80人（うち死者8人）が遭難しました。
- 遭難の態様主なものは、道迷い26人、転倒19人、滑落10人で、全体の半数以上を占めています。



山で遭難しないために

【登山する前に・・・】

- 事前に登山ルートを確認して、各自の経験、技術、体力などに応じた無理のない登山計画をたてましょう。
- 単独登山は控え、複数で登山しましょう。
- 登山計画書や登山カードを提出し、家族などにも登山コースや帰宅時間を教えておきましょう。
- 登山届受理システム「コンパス」、登山地図アプリ「ヤママップ」や「ヤマレコ」もご活用ください。
- 日帰り登山でも、登山地図や防寒着、雨衣、非常食、照明具、携帯電話の予備バッテリー、熊よけ鈴、熊撃退スプレーを携行しましょう。



コンパス



ヤママップ



ヤマレコ

【登山中は・・・】

- 悪天候時や体調不良の場合は、無理をせず勇気をもって引き返しましょう。
- 日帰り登山では、目的地に着かなくても、日暮れまでに下山しましょう。

山で遭難した場合には

【道に迷った場合は・・・】

- 道に迷ったら、先に進まず、位置が分かるところまで引き返しましょう。
- 戻れない場合は、むやみに動かず、尾根に出て救助を待ちましょう。

【救助要請する場合は・・・】

- 携帯電話や無線機などで救助要請する場合は、電波が届く場所を探して通報してください。

